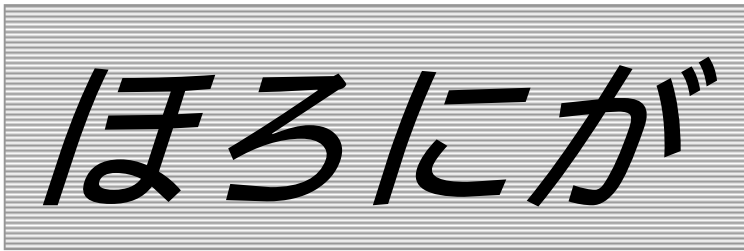


酒類ガイドライン遵守推進本部だより



平成20年9月19日
全国卸売酒販組合中央会
酒類ガイドライン遵守推進本部

「北京五輪・男子400mリレー」

委員 福井 誠 司

北京オリンピックが閉幕した。自らの限界に挑戦するアスリートが織り成すドラマはいつも心を打つ。そのドラマは、開催国の政治的な思惑など全てを忘れさせてくれる。私が印象的だったのが、北島康介の2冠2連覇、ソフトボールの最終2日間の3試合、そして男子陸上400mリレーだった。

特に、男子400mリレーには驚いた。その最大の勝因は、練習に練習を重ねたバトンパス（バトン渡し）にあった。他の強豪が予選からバトンパスのミスで姿を消していく中で、日本チームは確実なバトンパスで勝ち残った。バトンパスの妙技とは、単にトップスピードでバトンを確実に渡すだけではない。400mリレーとは、4人の走者全員が100mを走るわけではない。バトンゾーン（バトンをパスする場所）が3箇所あり“その最初でバトンをパスするか、後半でパスするか”も作戦である。即ち、105m走る方が良い選手と、95m走る方が良い選手がいるので、バトンゾーンの中で可能な限り調整する。その様な微妙なパスワークで日本は勝ち残った。きめ細かい練習を何度も何度も積み重ね、信頼関係と阿吽（あうん）の呼吸が生まれ絶妙なバトンパスが可能になる。そして、それが銅メダルに結びついた。

私達が取組む公正取引の確立も、問屋同士の信頼関係と阿吽の呼吸で自社基準というバトンを渡し続けることで初めて可能になる。得意先に見積りを提出する。そこには、相手基準でなく、常に自社基準というバトンがあるのだ。そのバトンを共有してこそ適正な取引が生まれる。何度も何度もお互いに正直に腹を割って話し合い、何度も何度も誠意を持って粘り強く得意先と交渉を重ねる。その中から、問屋同士の信頼関係と阿吽の呼吸が生まれてくる。

私達は諦めてはいけない。信頼関係を阿吽の呼吸で、業界全体を魅力あるものにすることを。

私達は諦めてはいけない。適正価格で取引をし、自社の健全経営を確立することを。

私達は諦めてはいけない。酒という社会の潤滑油を流通させ、社会を明るく豊かにすることを。

身体能力の差から、トラック競技での日本人メダル獲得は不可能であろうと言われた壁を破って獲得した銅メダル。信頼関係と阿吽の呼吸のバトンパスで、不可能を可能にした。

私達も信頼関係と阿吽の呼吸で、公正取引を確立しよう。

○ 平成 20 年 8 月ビール及び発泡酒等の出荷状況

(単位:kℓ・%)

区分 期間	8 月			1 ~ 8 月		
	当月数量	前年数量	前年比	本年数量	前年数量	前年比
ビール	312,022	365,453	85.4	2,107,900	2,266,245	93.0
発泡酒	123,619	145,008	85.2	953,251	1,014,945	93.9
小計	435,641	510,461	85.3	3,061,151	3,281,190	93.3
新ジャンル	139,318	119,654	116.4	920,287	818,407	112.4
計	574,959	630,115	91.2	3,981,438	4,099,597	97.1